

TOC（制約理論）の専門家教育

ゴールドドラットスクール Goldratt Schools

TOC実践ワークショップ
TOCに基づく生産管理(S-DBR)

GS Certification Program for TOC Trainers
in Production Management (SDBR)
- Basic Course

■第1部(4日間)： 2010年 5月12 - 13日 福岡市(福岡)
2010年 5月27 - 28日

■第2部(2日間)： 2010年 5月29 - 30日 福岡市(福岡)

(主催) ゴールドドラットスクール・ジャパン(株式会社ジュントス)
(協賛) パナソニックSNコンサルティング株式会社

受注生産におけるTOCの解決策： S-DBRの知識、仕組みと導入手順を習得する

顧客起点で、生産フローを素早く改善し、継続的な改善を可能にするための生産管理

コース概要

2001年に出版された『ザ・ゴール』が国内で70万部を超えるベストセラーになって以降、製造業を中心に注目を集めるようになったTOC(制約理論)。

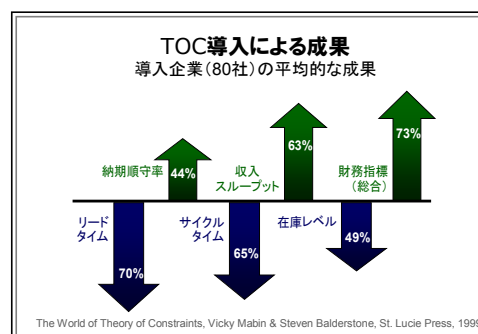
しかし、注目を集める一方、「面白いけれど、どうやればよいか分からない」という声が多かったのも事実です。

このような課題に応えるため、近年ゴールドラット博士率いるゴールドラットグループが注力してきたのが「導入方法論」、すなわち **実行ガイドライン**の開発です。



これにより、これまでTOCコンサルタント等の専門的な援助が必要であった導入ノウハウが体系化され、誰でも学び実践できるようになりました。本コースは、ゴールドラット博士と共に30年に渡り世界中でTOCの導入指導・専門家の育成に取り組んできたオーデッド・コーエン氏が開発したプログラムであり、近年急速な進化を遂げたTOCの最新知識と導入ノウハウが凝縮されています。

本コースでは、*受注生産を含む供給形態における最新の解決策S-DBRについて、知識の習得だけでなく、仕組みと導入手順についても演習を交えながら実践的に学びます。参加者はコース中に得た知識及び作成した成果物を用い**実際にS-DBRの導入に取り組むことができます。**



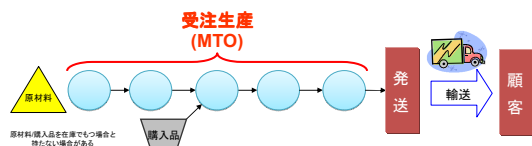
本コース参加企業の事例：

半導体製造装置部品メーカー

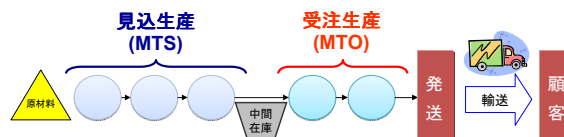
- 納期順守率：65%未満から95%以上に(導入3週間後)
- 製造リードタイム：約50%短縮
- 売上高：16%増加
- 粗利益率：15%から25%に向上

受注生産 - MTO: Make to Order

顧客の(特定)オーダーに基づいて生産するという供給形態。製造時間を含めたレスポンスタイムが許容されている。



*見込生産(MTS)との混合環境 (製品によってMTOとMTSを使い分けているケースも含む)



- 対象：**
- 製造・生産部門における意思決定者/管理職(工場長、製造部長など)、生産管理者
 - 製造・生産のシステム部門(ERP/MRP)担当者、生産性改善活動に携わっている方
 - 生産管理を専門とするコンサルタントや大学教員
 - TOCの生産管理を学びたい方

トレーナー



白土 竜馬

株式会社ジュンテス コンサルティンググループ マネジャー
Goldratt Schools Faculty Member
中小企業診断士
九州大学 ものづくり工学教育研究センター 非常勤講師



朝稲 渉

株式会社ジュンテス コンサルティンググループ
ゴールドラットスクール・ジャパン メンバー
博士(工学)



ゴールドラットスクール(Goldratt Schools)とは、TOCの創始者ゴールドラット博士が創設したゴールドラットグループ(世界規模で活動を展開するTOCの専門家組織。GSに加えゴールドラットコンサルティング、ゴールドラットマーケティンググループの3団体からなる)のひとつです。

GSは、企業マネジャーやコンサルタントに対して、TOCに関する最良かつ最新の知識を提供することを目的とし、その活動を世界中のあらゆる国で展開させています。

GSのミッションは、トレーナーの支援を得てTOCを学び、実践したいと願う全ての人々のために、その知識を手軽に利用できるようにすることです。そのために、GSはTOCの専門知識の発展を支え、TOCソリューションを導入するための知識と実践ノウハウを習得したTOCコンサルタントを育成・支援する役割を担っています。

本コースの位置づけ

本ワークショップは、「ゴールドラットスクール(GS)認定S-DBRトレーナー」の養成プログラムに準じた内容となっています。「GS認定トレーナー」までに辿るステップは以下ようになります。

TOC S-DBR TRAINER GS CERTIFICATION PROGRAM



Step 1

- S-DBR Basic Course (6日間)

対象: 受注生産を含む製造業に従事する企業の方、
コンサルタント(社内コンサルタント含む)、大学教員

Step 2

- クライアント企業とともに3-4ヶ月間S-DBR導入を実際に経験し、当該企業の署名入りのケーススタディレポートを提出する。(コンサルタントだけでなく、企業からの参加者も対象)

Step 3

- S-DBR Advanced Course (2日間)

参加の前提条件: S-DBR Basic Course 全6日間を受講し、ステップ2の基準を満たしていること
対象: TOCに基づく生産管理に関する幅広い知識を習得したい方
受注生産を含む製造業に従事する企業の方、
コンサルタント(社内コンサルタント含む)、大学教員

Step 4

- GS S-DBR Certification Program (2日間) & Exam (3時間)

参加の前提条件: ステップ1~3の基準を満たしていること

対象: ステップ1~3の条件を満たした参加者のうち、S-DBR Basic Courseを市場で教えたい方

Step 5

- S-DBR導入の実践経験を得た後、S-DBRマスター・トレーナーの管轄のもと、チームリーダーまたはトレーナー補佐としてクライアント向けS-DBR Basic Courseに2回参加すること

GS S-DBR Certification Program を無事修了すれば、

GS Certificate for S-DBR Trainer

* 本ワークショップは Step1: S-DBR Basic Course です。

* Step3: S-DBR Advanced Course に続けて Step4: GS S-DBR Certification Program & Exam を実施します。Exam合格者にはゴールドラット・スクール(GS)より認定資格が授与され、GSとライセンス契約を締結することでGSから教材等が提供され、それらを用いてセミナー等を行うことが認められます。

プログラム概要

TOCに基づく生産管理【第1部】（4日間）

※【第1部】受講者は、以降開催の【第2部】への参加資格が得られます。

日程	テーマ	内容
第1日目 2010/5/12 (水)	TOC概要/ TOCを用いた生産管理	<input type="checkbox"/> TOC概要 <ul style="list-style-type: none"> ▪ TOCの3つの基本前提 ▪ 問題分析&解決策構築のための知識モデル"U-shape" <input type="checkbox"/> TOCを用いた生産管理 <ul style="list-style-type: none"> ▪ 供給体制(MTO、MTS/MTA) ▪ 解決策を構築する際の留意点
	解決策の導入準備	<input type="checkbox"/> 製造フローのタイプ-VATIそれぞれの特徴 <input type="checkbox"/> 現状の管理手順を理解する <ul style="list-style-type: none"> ▪ CRS(現状調査)と展開フローチャート ▪ 展開フローチャートに落とし込む範囲 ▪ 演習:展開フローチャートの作成
第2日目 2010/5/13 (木)	S-DBR概要/ マインドセット	<input type="checkbox"/> S-DBRの全体像 -8つのインジェクション(解決策の構成要素) <input type="checkbox"/> インジェクションを理解する -知識、仕組み、導入計画 <input type="checkbox"/> インジェクション1のエッセンス解説 <ul style="list-style-type: none"> ▪ マインドセット -適切なパフォーマンス指標の設定 ▪ 演習:インジェクション1の知識構築
	知識構築 (生産計画)	<input type="checkbox"/> インジェクション2-3-4の概要 <input type="checkbox"/> インジェクション2のエッセンス解説 <ul style="list-style-type: none"> ▪ プロダクションバッファと材料投入 ▪ 演習:インジェクション2の知識構築
第3日目 2010/5/27 (木)	知識構築 (実行管理)	<input type="checkbox"/> インジェクション3-4のエッセンス解説 <ul style="list-style-type: none"> ▪ バッファーマネジメント(BM) -優先順位システムと進捗管理 ▪ 演習:インジェクション3の知識構築 ▪ 演習:インジェクション4の知識構築
	仕組み/管理手順 (生産計画)	<input type="checkbox"/> 生産計画の仕組み/管理手順 -インジェクション2 <ul style="list-style-type: none"> ▪ 演習:プロダクションバッファと材料投入の仕組み
第4日目 2010/5/28 (金)	仕組み/管理手順 (実行管理)	<input type="checkbox"/> 実行管理の仕組み/管理手順 -インジェクション3-4 <ul style="list-style-type: none"> ▪ 演習:3色システム(優先順位の仕組み) -BMファイルとオーダー色づけの手順 ▪ 演習:日次製造ミーティングの手順
	導入計画	<input type="checkbox"/> S-DBRの導入手順 <ul style="list-style-type: none"> ▪ インジェクションごとのミニ導入計画 -必要タスクと成果物 <input type="checkbox"/> 全体計画(導入マップ)への統合 <ul style="list-style-type: none"> ▪ 演習:インジェクション1-2-3-4の導入計画の作成

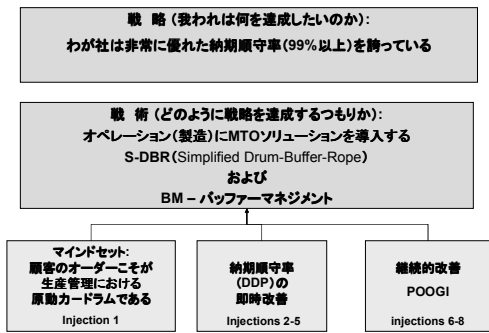
TOCに基づく生産管理【第1部】（4日間）

S-DBRとは Simplified Drum-Buffer-Rope の略で、受注生産環境における最新のTOCソリューションです。『ザ・ゴール』で有名な「ドラムバッファロープ(DBR)」をベースに、よりシンプルで実用的な運用ができるよう開発されました。

S-DBRは多くの製造環境に適用できるよう、その機能・特徴が標準化されているため、実際の導入に際してはそれぞれの製造環境に合わせるための「カスタマイズ」が必要になります。

また、それと同時に、現行の生産管理の手順/システムにも部分的な変更が求められます。現場での不必要な混乱・リスクを避け、スムーズな導入を実現するためには適切な順序でアクションを実施しなければなりません。

受注生産(MTO)におけるTOCの解決策

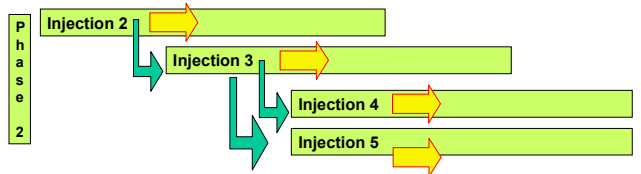


ゴールドラットスクールではS-DBR導入を3つのブロックに分け、以下の順序でプログラムを構成しています。

1. マインドセット
2. DDP (納期順守率)の即時改善
3. POOGI (継続的改善)

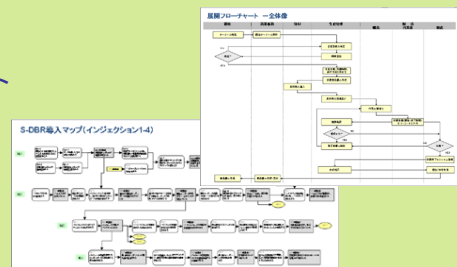
各ブロックでは各々S-DBRの構成要素「インジェクション」がその導入順序ごとに定義されています。

第1部では、「マインドセット」と「DDPの即時改善」の実行に際して必要な知識・スキルを学びます。



参加者は、本プログラムを通じて「S-DBRの知識を自社(または顧客)の製造環境と関連づけて理解するスキル」を習得し、以下の成果物を手にすることができます。

1. 現行の生産管理の仕組み/手順を表した展開フローチャート
2. S-DBR導入によるメリット、留意点を説明するための資料
3. S-DBRの導入計画



参考: DBRとの違い

従来のDBRは「CCRバッファ」や「出荷バッファ」など複数のバッファが存在しましたが、S-DBRでは生産計画・実行管理で用いるバッファを「プロダクションバッファ」の1つとし、運用面の複雑性を回避しています。

また、S-DBRでは専用スケジューリングソフトを必要としないため、導入時にかかる時間・コストを大きく軽減でき、企業側の負担が少なくてすむというメリットもあります。

プログラム概要

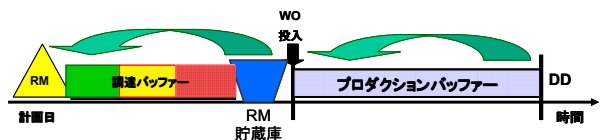
TOCに基づく生産管理【第2部】（2日間）

※【第2部】の受講には、【第1部】受講が必要です。

※【第2部】修了者には、ゴールドラットスクール認定プログラム「S-DBR Basic Course」の修了書が付与されます。

日程	テーマ	内容
第5日目 2010/5/29 (土)	購入品(BO item)の 管理方法	<input type="checkbox"/> インジェクション5のエッセンス解説 <ul style="list-style-type: none"> 重要な原材料/部品の利用可能性の監視/管理 都度調達と在庫調達 演習:インジェクション5の知識構築
	見込生産(MTS)の エッセンス	<input type="checkbox"/> MTS(見込生産)とMTA(需要連動生産) <input type="checkbox"/> TOCに基づく在庫補充の仕組み <ul style="list-style-type: none"> 補充期間と目標在庫 在庫バッファの概念 ダイナミックバッファーマネジメント(DBM) <input type="checkbox"/> MTO環境とMTS環境の融合
第6日目 2010/5/30 (日)	継続的改善 (POOGI)	<input type="checkbox"/> 継続的改善(POOGI)の仕組み <input type="checkbox"/> インジェクション6のエッセンス解説 <ul style="list-style-type: none"> バッファ消費理由の記録と分析 改善活動の評価
	制約工程(CCR)の 管理方法	<input type="checkbox"/> インジェクション7のエッセンス解説 <ul style="list-style-type: none"> キャパシティ分類 - ボトルネック、CCR、Non-CCR CCR(制約工程)の特定手順とコントロールの仕組み 計画負荷 - 製造と営業の同期化 <input type="checkbox"/> インジェクション8のエッセンス解説 <ul style="list-style-type: none"> 移送バッチの取扱い

第2部では、まず「DDPの即時改善」の残りのインジェクション「重要な原材料/部品の利用可能性の監視/管理」の内容として「購入品(Bought-Out items)の管理方法」について学びます。また、その応用知識としてMTS(見込生産)にも触れます。



最後に、S-DBRの3つ目のブロック「POOGI 継続的改善」について、以下の概要を学びます。

1. バッファ消費理由の記録と分析
2. CCR(制約工程)の特定とコントロールの仕組み
3. 移送バッチの取扱い

参加者は、第1部で学んだことをベースに、S-DBRを用いた更なる改善の仕組みに関する知識を習得できます。また、TOCに基づく在庫管理の基礎を学ぶことを通じて、MTS環境(サプライチェーンマネジメント)におけるTOCの解決策(TOC Replenishment/ MTA)に関する予備知識を得ることができます。

開催要項

日程	開催日	開催地
第1部 (4日間)	2010年 5月12日(水) - 13日(木) 2010年 5月27日(木) - 28日(金)	福岡市(福岡)
第2部 (2日間)	2010年 5月29日(土) - 30日(日)	福岡市(福岡)

※各日とも **9:30-18:00**

※第1部と第2部では会場が異なります。

参加費：【第1部】 168,000円(税込) / アカデミック割引 117,600円(税込)
【第1部+第2部】 252,000円(税込) / アカデミック割引 176,400円(税込)

※参加費用は口座振込にてお支払い頂きます。

※お振込み後のキャンセル、ご返金は原則としてお受けできませんので、予めご了承ください。

※交通費、宿泊費、昼食代は、お客様のご負担にてお願い致します。

※ゴールドラットスクール認定「S-DBR Basic Course」の修了書をご希望の場合、全6日間の参加が必要です。

定員： 10名まで(定員になり次第、受付を終了いたします)

主催： ゴールドラットスクール・ジャパン(株式会社ジュントス)

協賛： パナソニックSNコンサルティング株式会社

会場

パナソニックSNコンサルティング株式会社 会議室
福岡市博多区博多駅南1-2-13 福岡パナソニックビル2階



※第2部の会場は異なります。

- 【福岡空港から】
 - 福岡市地下鉄空港線 2駅(約5分): 福岡空港駅乗車、博多駅下車 15番出口
 - タクシー約20分
- 【博多駅から】
 - 筑紫口出口より徒歩5分
- 【天神方面から】
 - 福岡市地下鉄空港線 3駅(約5分): 天神駅乗車、博多駅下車 15番出口
- 【地下鉄から】
 - 福岡市地下鉄空港線: 博多駅下車 15番出口

参加者の声

- こんなに実践的な講義ははじめてだ。わが社の課題が浮き彫りになった。【製造業 役員】
- これからTOCを導入する当社にとって、非常によい勉強になりました。【製造業 生産技術】
- これまでのTOC導入の支援現場で、自分に何が欠けていたのか明確になった。【コンサルタント】

お問い合わせ

ゴールドラットスクール・ジャパン(株式会社ジュントス)

〒812-0012 福岡県福岡市博多区博多駅中央街7-2 博多SSビル4F

Tel: 092 (412) 7053 Fax: 092 (412) 7054

E-mail: katabuchi@juntos.co.jp

TOC 実践ワークショップ: **TOC に基づく生産管理 (S-DBR)**

参加申込書

ゴールドラットスクール・ジャパン (株式会社ジュントス)

FAX : 092-412-7054

E-mail : katabuchi@juntos.co.jp

TEL : 092-412-7053

HP : <http://www.juntos.co.jp>

申込み期限 : 2010 年 4 月 30 日まで

※ FAX もしくは E-mail よりお申込み下さい。

下記開催要項を確認の上、ワークショップ参加の申込みをいたします。

開催概要 :	開催日	開催地
第1部 (4日間)	2010 年 5 月 12 日(水) - 13 日(木)	福岡市(福岡)
	2010 年 5 月 27 日(木) - 28 日(金)	
第2部 (2日間)	2010 年 5 月 29 日(土) - 30 日(日)	福岡市(福岡)

※ 各日とも 9:30-18:00 ※第1部と第2部では会場が異なります。

■参加費 : 【第1部】 168,000 円 (税込) / アカデミック割引 117,600 円 (税込)
 【第1部+第2部】 252,000 円 (税込) / アカデミック割引 176,400 円 (税込)

- ※ 団体参加割引、アカデミック割引あり、ご相談下さい。
- ※ お振込み後のキャンセル、ご返金は原則としてお受けできませんので、予めご了承ください。
- ※ 交通費、宿泊費、昼食代は、お客様のご負担にてお願い致します。
- ※ 「ゴールドラットスクール認定 S-DBR Basic Course」の修了書を希望する場合、全 6 日間の参加が必要です。

■お支払い方法 : 本申込書にてお申し込みの後、1 週間以内にお振込み下さい。
 お客様のご都合による支払時期の変更はご相談下さい。
 尚、振込手数料はお客様のご負担にてお願いいたします。

振込先 : 西日本シティ銀行 博多駅東 支店 (普通) 1533163
 株式会社ジュントス

フリガナ 企業名			
御社住所	〒		
フリガナ 申込担当	所属 (役職)	TEL:	E-mail:
「通信欄」※請求書の発行をご希望の方は、その旨ご記入下さい。		領収書 : 要、否	
フリガナ 参加者	所属 (役職)	TEL:	E-mail: <input type="checkbox"/> 第1部 <input type="checkbox"/> 第2部
フリガナ 参加者	所属 (役職)	TEL:	E-mail: <input type="checkbox"/> 第1部 <input type="checkbox"/> 第2部
フリガナ 参加者	所属 (役職)	TEL:	E-mail: <input type="checkbox"/> 第1部 <input type="checkbox"/> 第2部

合計 _____ 名 参加費合計 (税込み) _____ 円

個人・企業情報の保護 個人情報保護法に定義する個人情報に該当する情報は、当社で実施する事業で利用します。従って、当該個人情報の第三者への提供又は開示はいたしません。ただし、受講者の同意がある場合、及び法令等に基づき要請された場合には当該個人情報を提供できるものとします。また、企業情報、並びにアドバイスにより知り得た機密事項についても、同様に取り扱いものと致します。

【お問合せ窓口】

ゴールドラットスクール・ジャパン (株式会社ジュントス)

〒812-0012 福岡県福岡市博多区博多駅中央街 7-2 博多 SS ビル 4F

Tel : 092 (412) 7053 Fax : 092 (412) 7054

E-mail : katabuchi@juntos.co.jp



ゴールドラットスクール・ジャパン
(株式会社ジェントス)